

平成23年中の
出動状況
(1月～12月)

火災

—主な出火原因—	
放火	21件 (疑いを含む)
タバコ等	5件
コンロ	5件
火あそび	4件

件名	件数
建物火災	36
車両火災	13
その他	19
合計	68

救急

件名	件数
急病	6,008
一般負傷	1,356
交通	956
その他	1,336
合計	9,656

救助

件名	件数
火災	29
交通事故	13
建物事故	8
機械事故	4
その他	24
合計	78

警戒救急支援等

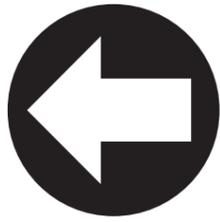
件名	件数
救急支援活動	655
調査	116
警戒出動	112
その他	36
合計	919

●救急支援活動…救急隊の活動を消防隊が支援活動し、傷病者をより安全に救急車に収容するための出動。

●調査…異臭や焚き火の放置などのうち、人的被害や危険性の少なかった物に対する出動。

●警戒出動…ガソリンの流出など、危険物除去や、ガス漏れによる報知器の鳴動による出動。

つけた火に 向いていますか 消す心
— 入間東部地区消防組合 防火標語 —



住宅火災の多くは、火の取り扱
いの不注意が原因です。昨年の三
芳町・富士見市・ふじみ野市での
火災の件数は68件です。平成22年
に比べて6件増加しています。1
名の尊い命と、多くの財産が失わ
れています。

また、救急車の出動件数は9千
656件で、平成22年に比べ398件増加
しました。さらに医療機関に搬送
されたうち、半数以上が軽症と診
断されました。救急車の適正な利
用をお願いします。

ご報告
火災・救急・救助等
の出動状況
平成23年1月～12月

お知らせ 最新型車両を導入し、消防力の強化を図る

平成9年に配備した救助工作車の老朽化に伴い、3月に更新しました。他の都道府県で、大規模な災害が発生した場合に応援出動する、緊急消防援助隊に登録されています。

① 悪路を走破する4WDのシャシーに、照明装置・車両用クレーン、前後引きウインチなどを搭載 ② 車内は防火衣等の着装が可能 ③ 高度救助資機材を積載



お知らせ 春の火災予防運動を実施しました 3月1日～7日

消防署では、住民の皆さんに更なる防災意識を高めてもらうため、火災予防運動期間中、火災予防キャンペーンを実施しました。

火災の発生を防止し、万一発生しても、尊い生命と貴重な財産を守る事が目的です。

住宅用火災警報器の設置推進と不適正販売への注意、老朽化した消火器の破裂事故への注意のほか、放火による被害の防止策をお知らせしました。

また、大型店舗などを対象にした特別査察の実施や、家庭内の防火対策の普及を目的に、消防職員・消防団員が一般の家庭を訪問し、防火診断を実施しました。

● 住宅火災 いのちを守る7つのポイント ●

3つの習慣
・寝たばこは絶対に禁止・ストーブの近くには燃えやすいものを置かない・使用中のコンロから離れる時は、必ず火を消す

4つの対策
・住宅用火災警報器の設置・防災品の使用・住宅用消火器・近隣との協力体制



もう設置しましたか？
— 住宅用火災警報器 —

入間東部地区消防組合
三芳町・富士見市・ふじみ野市

みんなの消防

〒356-0052 ふじみ野市苗間1-13-28
TEL 261-6000 (代) FAX261-4395
HP : <http://www.irumatohbu119.jp/>
E-mail : shobo@irumatohbu119.jp (代)
火災の問い合わせ TEL049(263)0119 (音声案内)
救急病院の御案内 TEL049(261)6000 (休日・夜間)

【写真】ドクターヘリが役場前の総合運動グラウンドに到着した様子。砂が舞わないように、着陸前に放水をします。

防止

家具類の転倒・落下
防止をしましょう

大きな地震が発生し、建物には特別な被害はないにもかかわらず、家具の転倒や散乱によって逃げ道が塞がれ、逃げ遅れたり、室内でケガを負った方が多数います。地震から身を守るため、家具類の転倒落下防止をしましょう。

【安全確保】

- ・高齢者や幼児の寝室に家具を置かない
- ・部屋の出入口付近に家具を置かない
- ・重いものを下のほうに収納する
- ・家具の上にガラス製品を置かない



お知らせ

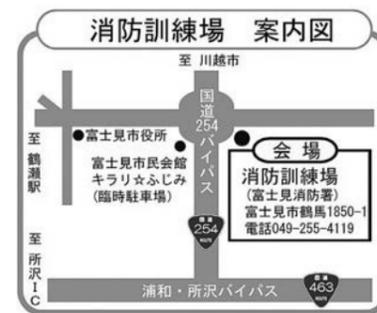
埼玉県第2ブロック
消防救助技術指導会
を開催します

5月18日(金)午前9時から、富士見市にある消防訓練場で、当消防組合ほか、近隣消防本部の参加により、救助技術の正確さ・迅速さを競う、消防救助技術指導会を開催します。

見学は自由です。臨時駐車場として富士見市民文化会館・キラリふじみの駐車場をご用意しましたが、数に限りがございますので、自動車でのお越しはなるべく遠慮ください。

住民の皆さんからの応援をお待ちしています。

【問い合わせ先】
総務課 ☎(261) 6004



消防11Q

最近よく耳にするAED。必要のない患者に誤って電気ショックを与えてしまわないでしょうか？

AED(自動体外式除細動器)は、突然心臓がけいれんをおこし心肺停止になった場合に、心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを正常に戻す器械で、電源を入れると開始する音声案内に従って操作します。質問にある電気ショックの必要性の判断

は、器械が判断します。必要なければ、誤ってスイッチを押しても、電気ショックを与えません。

皆さんの勇気と強い意志を持って救命処置をお願いします。



▲埼玉県内のAED設置施設の表示